

第53回(平成23年度)

大阪府統計グラフコンクール入賞作品紹介

大阪府総務部統計課 情報・分析グループ

「第53回(平成23年度)大阪府統計グラフコンクール」の入賞作品が決定しました。同コンクールは、府民の皆様には統計グラフの作成を通して、統計の技術表現の向上を深めていただくとともに、統計への理解と関心、親しみを深めていただくことを目的として、大阪府が毎年開催しています。

今回は全部で1,246点の応募があり、審査の結果、「知事賞」に22作品(特選4作品、入選10作品、佳作8作品)が選ばれました。

作品のテーマは、「節電」「原子力発電」といった今年話題に上ったものや、「やさしさってなあに?」といった福祉について調べたもの、「私の住んでいる熊取町 60歳の誕生日をむかえたよ!!」といった町制施行60周年を迎えたことを視点にして作成したものなどがありました。

今回「知事賞(特選・入選)」を受賞した14作品を「第59回統計グラフ全国コンクール」(主催:(財)統計情報研究開発センター)に出品したところ、『イマドキの中学生は「携帯電話をどう使っているの?!」』(学校法人大谷学園大谷中学校1年生 山本梨瑚さん作)が奨励賞を受賞しました。

また、当コンクールに連続して応募するなど、積極的に取り組んだ学校等に対して贈られる知事団体賞は、熊取町立中央小学校に決定しました。

当コンクールの実施にあたり、ご応募いただきました皆様、並びに格別のご協力をいただきました関係各位に対して心よりお礼申し上げます。

応募状況

応募区分	応募作品数 (点)	応募者数 (人)	大阪府 知事賞	特選		
				特選	入選	佳作
第1部 (小学校1・2年生)	8	11	3	1	1	1
第2部 (小学校3・4年生)	123	160	3	1	1	1
第3部 (小学校5・6年生)	351	402	4	1	2	1
第4部 (中学校の生徒)	511	564	7	1	4	2
第5部 (高等学校以上の生徒、学生、一般)	22	22	1	0	0	1
パソコン統計グラフの部 (小学校の児童以上)	231	233	4	0	2	2
合計	1,246	1,392	22	4	10	8

入賞作品はインターネットでもご覧いただくことができます。

<http://www.pref.osaka.jp/toukei/gcon/index.html>

第53回(平成23年度)大阪府統計グラフコンクール入賞作品

知事賞特選・入選作品



特選

第1部

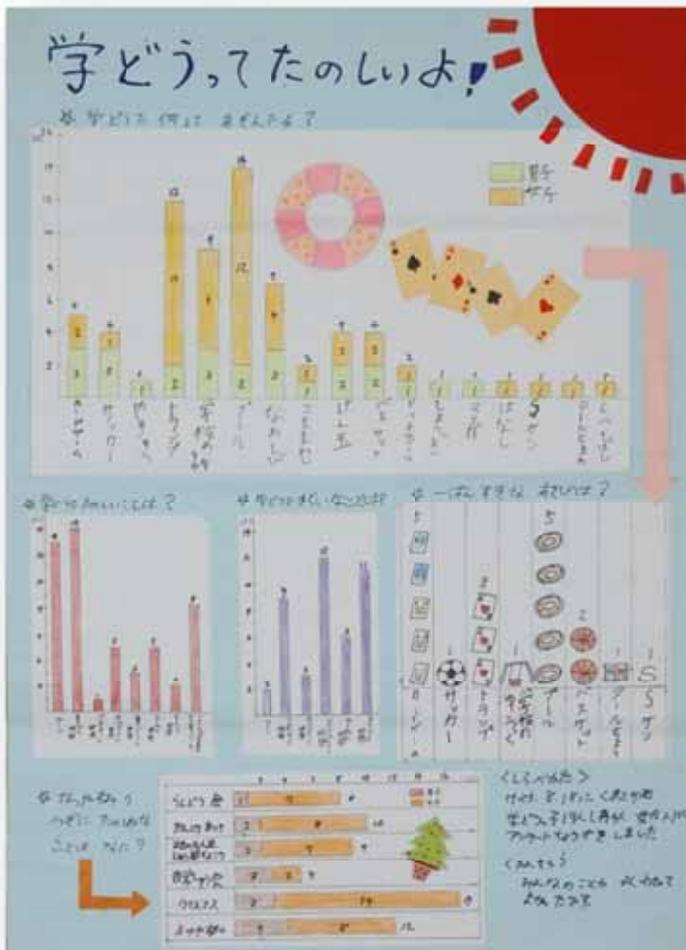
(小学校1・2年生)

かぞえたよ 校くあれこれ

大阪市立真田山小学校2年生

堀越 萌衣

通学している小学校の校区にはどのような施設がどれくらいあるかを調べています。地図で確認して絵グラフで表し、また、商店街のお店の種類を棒グラフにしています。明るい配色で印象に残る作品です。学校で学習していることが丁寧にまとめられています。



入選

第1部

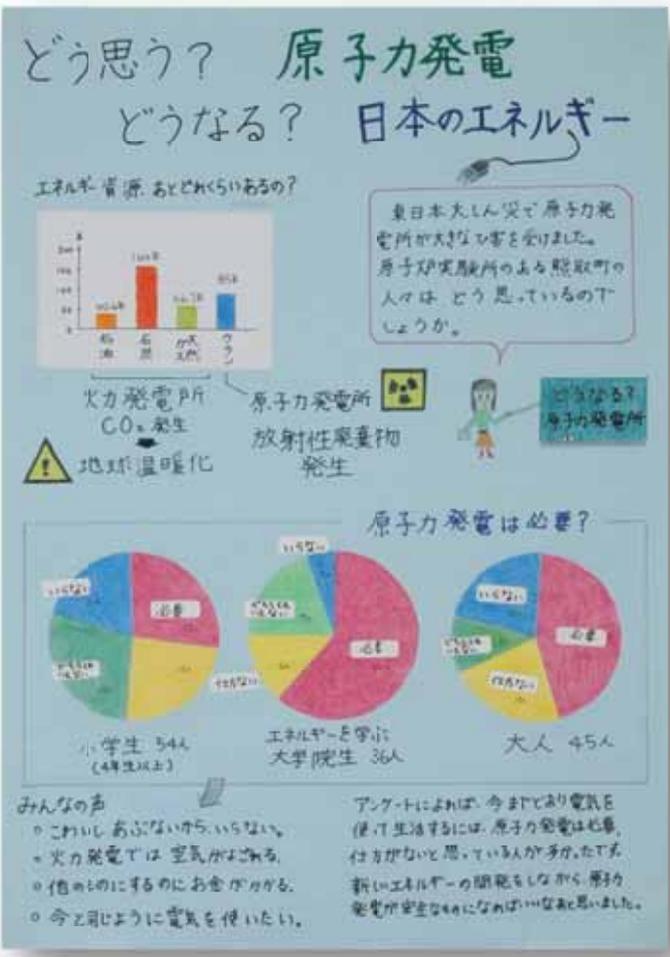
(小学校1・2年生)

学どうってたのしいよ!

熊取町立西小学校2年生

鈴木 颯太

8月18日に学童保育に来ていた19人に対する学童についてのアンケートです。好きな遊び、行事などを棒グラフや絵グラフでまとめられています。日頃から通っている学童について、いろいろな興味を持っていることがわかります。また、イラストを貼りつけるなどして楽しい雰囲気が伝わってくる作品です。



特選 第2部
(小学校3・4年生)

どう思う？ 原子力発電
どうなる？ 日本のエネルギー

熊取町立西小学校4年生
齊藤 美優

東日本大震災で原子力発電所が大きな被害を受けたことで、原子力発電は必要なのか、アンケートをとり、グラフ化しています。円グラフは色分けをしてあり、見やすく訴えるものがあります。今日的な課題である事柄に興味を持ち、調べている点は素晴らしいです。



入選 第2部
(小学校3・4年生)

漢字いろいろじゅんい

堺市立三国丘小学校3年生
多田 裕貴子
野中 愛根

3年生で漢字辞典を利用するようになり、漢字について調べたことを棒グラフで表しています。書き順や部首など、漢字に興味を持ち、いろいろな疑問をひきだしています。ここまで漢字について調べているのは素晴らしいことで、漢字が好きなことが感じられます。

やさしさってなあに？

(地域の施設見学・交流で学んだこと)

(熊取町立北八下小学校6年生23名のアンケート結果から、抜粋したもの)

	働いている人	施設にいる人	建物
特別養護老人ホーム	1位 食事のメニューの工夫 2位 食事のサービス 3位 家族で帰る 4位 動物の飼育 5位 一緒に掃除する	1位 家族で帰る 2位 帰るに役立つ 3位 楽しく帰る 4位 帰りに役立つ 5位 インタビューが出来る	1位 家族が帰る 2位 帰りに役立つ 3位 帰りに役立つ 4位 帰りに役立つ 5位 帰りに役立つ
グループホーム	1位 コミュニケーションが出来る 2位 家族で帰る 3位 食事のサービス 4位 家族の帰る 5位 動物の飼育	1位 帰りに役立つ 2位 帰りに役立つ 3位 帰りに役立つ 4位 スタッフの笑顔 5位 帰りに役立つ	1位 帰りに役立つ 2位 帰りに役立つ 3位 帰りに役立つ 4位 帰りに役立つ 5位 帰りに役立つ
障害者作業所	1位 一人ひとりが出来る 2位 動物の飼育 3位 家族で帰る 4位 コミュニケーションが出来る 5位 帰りに役立つ	1位 帰りに役立つ 2位 帰りに役立つ 3位 帰りに役立つ 4位 帰りに役立つ 5位 帰りに役立つ	1位 帰りに役立つ 2位 帰りに役立つ 3位 帰りに役立つ 4位 帰りに役立つ 5位 帰りに役立つ



第3部 (小学校5・6年生)

やさしさってなあに？ 私たちが感じた人や施設のやさしさベスト5

堺市立北八下小学校6年生
 小波津 瑞穂
 西 未知
 藤田 知音

「やさしさ」をテーマに、地域の施設見学や交流で学んだことをクラス児童33人にアンケートをとってまとめた作品です。
 普段あまり気付かないところを調べていて、とても伝わってくるものがあります。

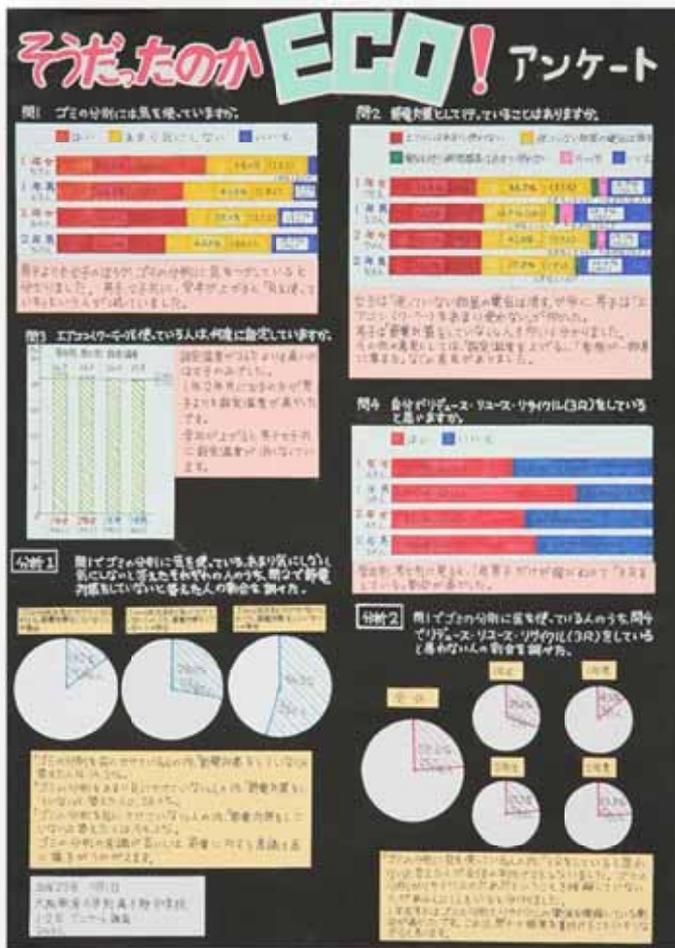


第3部 (小学校5・6年生)

私の住んでいる熊取町 60歳のお誕生日を むかえたよ!!

熊取町立西小学校5年生
 鈴木 理紗

熊取町町制施行60周年を迎えたことで、小学生21人にアンケートをとってグラフにまとめたものです。
 自分が住んでいる町にいろいろ興味を持っているところが印象的です。題字の配色をもう少し濃くするとわかりやすかったかもしれません。



■ 第4部
(中学校の生徒)

そだったのかECO! アンケート

大阪教育大学附属平野中学校1年生
高橋 有紀

ゴミの分別と節電、3R(リユース、リデュース、リサイクル)等についてアンケートをとったうえでグラフ化しています。さらに、ゴミの分別と節電との関連性等の分析を円グラフでまとめられています。テーマがとてもよく、見やすい作品に仕上がっています。



■ 第4部
(中学校の生徒)

統計グラフ全国コンクール奨励賞

イマドキの中学生は「携帯電話をどう使っているの?!」

学校法人大谷学園 大谷中学校1年生
山本 梨瑚

中学生に「携帯電話」についてアンケートをとり、まとめた結果をグラフ化した作品です。「親とのルールはありますか?」や「そのルールを守っていますか?」など、中学生らしい設問となっています。

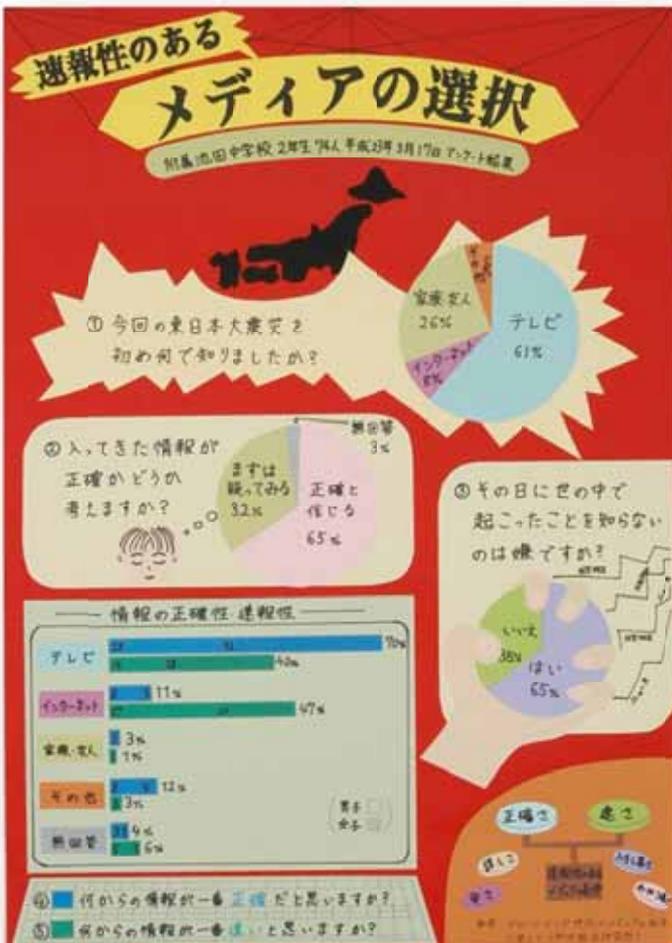


第4部 (中学校の生徒)

シャンプーそのすべて

大阪教育大学附属池田中学校3年生
吉田 優里

中学生 100 人に「シャンプーはしますか?」「シャンプーにかける時間は?」などシャンプーの事について、いろいろアンケートをとり、作品にまとめられています。円グラフや棒グラフだけでなく絵グラフを利用して、いまだきの中学生のシャンプー事情を表しています。デザインやグラフのまとめ方に工夫が見られる作品です。

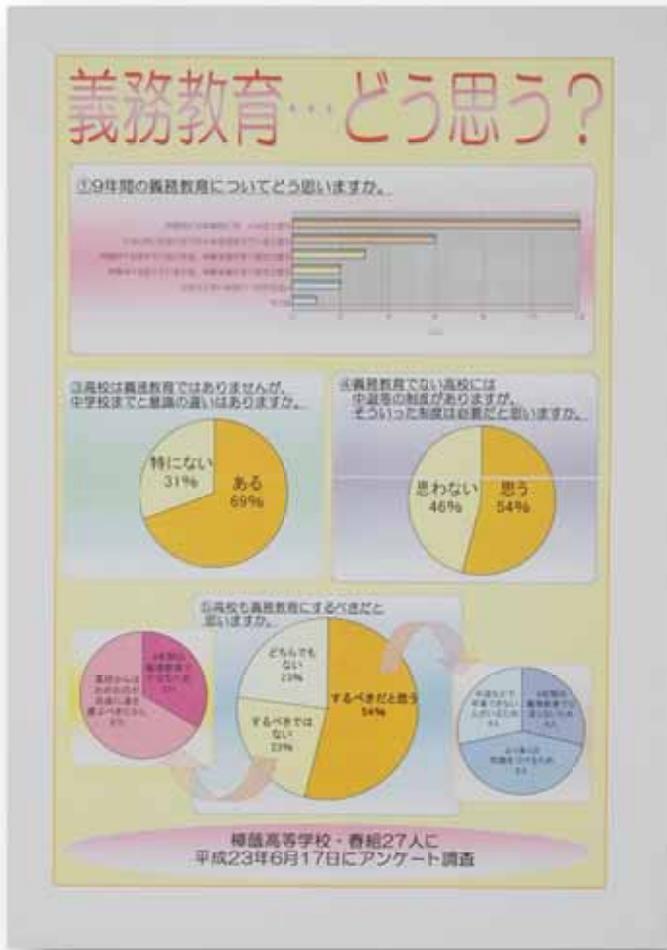


第4部 (中学校の生徒)

速報性のあるメディアの選択

大阪教育大学附属池田中学校3年生
嶋 睦弥

今年3月に発生した東日本大震災についてどのようにして知ったか、情報の正確性・速報性などメディアの選択についてアンケートをとり、グラフにまとめています。情報の正確性は「テレビで」、速報性は「インターネットで」と情報の選択について、日頃感じていることが表現されています。



■ パソコン統計 グラフの部

(小学校の児童以上)

義務教育…どう思う？

学校法人樟蔭学園 樟蔭高等学校1年生
佐藤 あかね

義務教育を修了した高校生に「義務教育」についてアンケートをとり、グラフで表現しています。「9年間の義務教育についてどう思いますか?」など、高校生になって義務教育についてどう考えるかというテーマが良く、訴える力があります。また、グラフ構成・デザイン構成も優れています。用紙いっぱい仕上げれば、より映える作品となります。



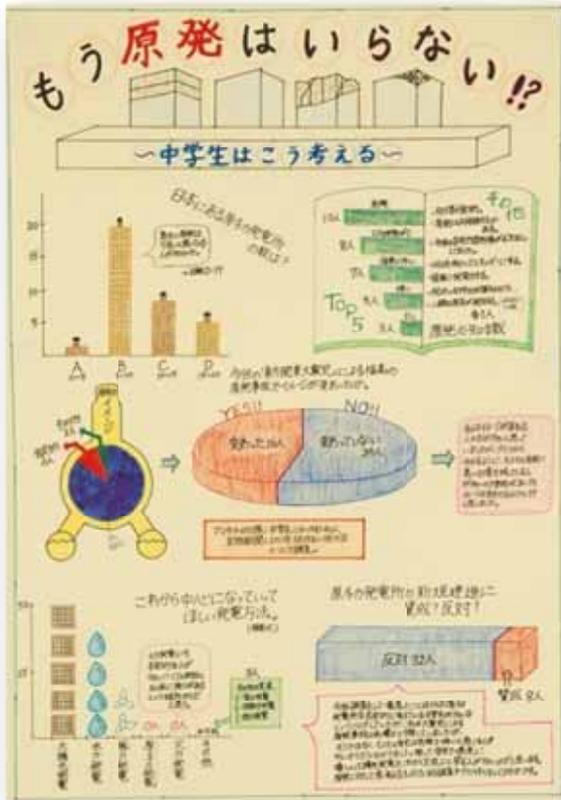
■ パソコン統計 グラフの部

(小学校の児童以上)

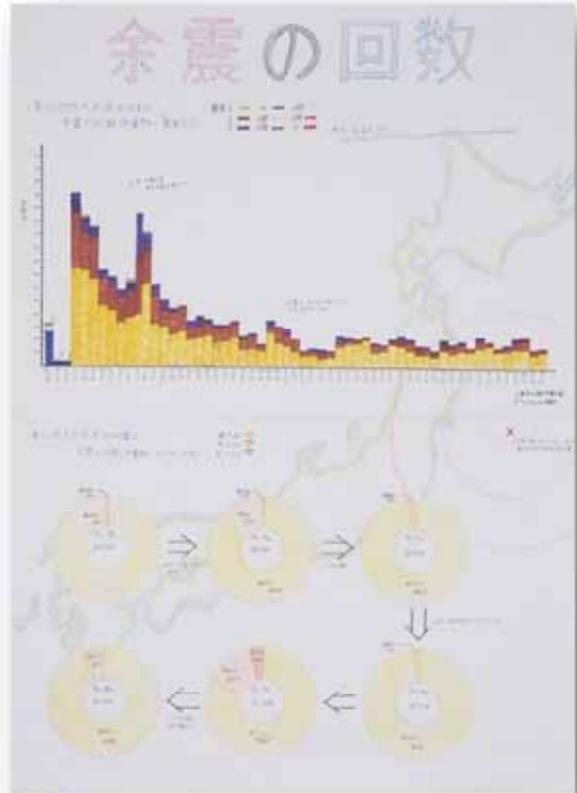
CD kill the CASSETTE TAPE !? and more...?

大阪府立今宮工科高等学校3年生
尼崎 倫公里

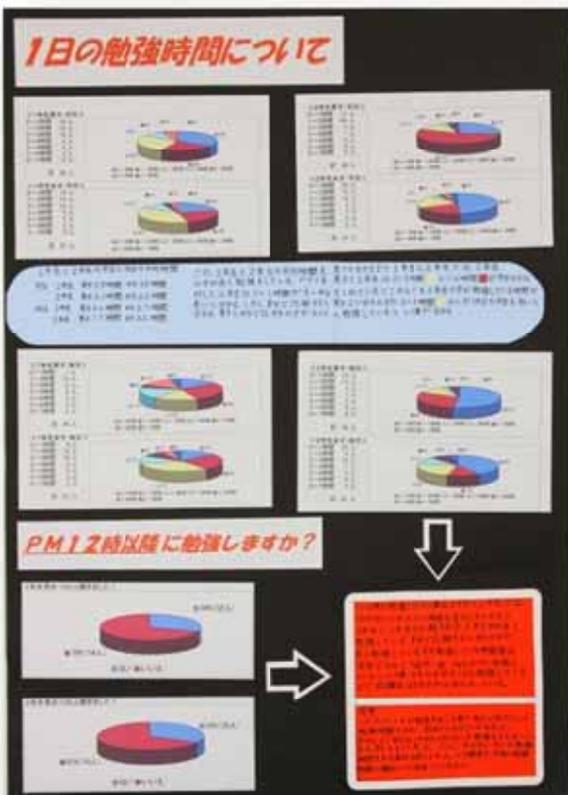
「CD によりカセットテープの生産本数が減っている。そして...」というテーマで、CD とカセットテープの生産枚数・本数の関係や音楽ソフト(CD など)と有料配信音楽の比率をグラフ化した作品です。デザインの構成や色づかいにインパクトがあります。もう少し長期的にデータをとってみることで、変化がはっきりしたかもしれません。



第4部(中学校の生徒)
もう原発はいらない!? ~中学生はこう考える~
 大阪教育大学附属池田中学校3年生
 山本 麻生



第5部(高等学校以上の生徒、学生、一般)
余震の回数
 関西大学高等部1年生
 打海 将平



パソコン統計グラフの部(小学校の児童以上)
1日の勉強時間について
 大阪教育大学附属平野中学校1年生
 木村 優作



パソコン統計グラフの部(小学校の児童以上)
大阪府市町村別だんじり所有数
 大阪府立今宮工科高等学校3年生
 野見山 祐希